



ケンタ君(小学5年生)

「地理情報標準」って言葉をはじめて聞いたよ。でも、何のことか全然想像がつかないよ。



マップ博士

聞き慣れない言葉じゃのお。国土地理院で「地理情報標準」の仕事をしている人に聞いてみよう！

【地理情報標準とは】

ゲーム機の充電をするときにはコンセントに充電器をさしこみますよね。コンセントの差込口は、自分の家も、友達の家も、おばあちゃんの家も、全て同じ形をしていて、コンセントさえあれば日本の中ならどこでもゲーム機を充電して遊ぶことができるようになっています。

コンセントのように形や大きさを同じにしたり、品質を同じにしたりすることを「標準化」といいます。標準化できていると、どこでも同じように使えて便利だし、何でも安心して使うことができますようになります。

地図もみんなが同じように使えたほうが便利ですね。

とくにスマートフォンやパソコンなどで地図を使うときの“便利”を実現するために、地図の「データの書き方」や「そのデータが、どのようなデータなのかの紹介のしかた」をだれでも同じに使えるようにしたものを「地理情報標準」といいます。

みんなが同じように地図のデータを使えるようになると、知りたい場所のことを調べるのに、いろいろな地図のデータを簡単に組み合わせて使うことができますようになります。そうすると、地図のデータを使う人のアイデアで、今までならなかなか分からなかったことも知ることができるようになり、それがさらなるアイデアや発見につながって、便利で楽しい社会をひらく可能性がどんどん広がっていきます。

「地理情報標準」は、さまざまな地図のデータを使うみなさんの背中を押して、よりよい社会にもけた歩みをすすめる役割をはたしているのです。

(企画部)

